

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第3回 所沢市行政経営推進委員会
開 催 日 時	平成30年11月15日(木) 午後6時00分から午後8時まで
開 催 場 所	市役所高層棟3階 301会議室
出 席 者 の 氏 名	石川 久、依田 素味、宇佐美 保政、清水 正幸、谷山 修一、 平岩 敏和、堀内 清則、加藤 剛毅
欠 席 者 の 氏 名	
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) まち・ひと・しごと創生総合戦略について (2) 提言案の検討 (3) その他
会 議 資 料	資料1 H30 所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理表(1) 資料2 H30 所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗管理表(2) 資料3 地方創生推進交付金における効果検証 資料4 次期行政改革の取組に向けた提言(素案)
担 当 部 課 名	経営企画部長 平田 仁 経営企画課長 市川 勝也 経営企画課主幹 吉川 泰央 経営企画課主査 松本 しのぶ 経営企画課主査 溝井 麻美 経営企画課主任 谷口 周 経営企画課主任 都築 岳男 経営企画部 経営企画課 電話：04-2998-9027

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>委員長司会のもと議事を進行。</p> <p><u>（1）まち・ひと・しごと創生総合戦略について（資料 1～3）</u></p>
事務局	<p>担当より、まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地方創生推進交付金の平成 29 年度実績について説明を行った。</p>
委員	<p>資料 1 P3 の 30～40 歳代の転出入均衡の表について、なぜ、平成 29 年度で若年層が減ったのか。</p>
事務局	<p>理由について詳細な分析は難しいところだが、直接的に影響するところでは、近隣の住宅開発で転出していくケースがある。子育て世代へ所沢の魅力を十分にアピールできていないことも考えられる。</p>
委員長	<p>理由はわからないにしても、どこに行ったかは把握できるはずである。行った先が戸建であれば、家を建てて出ていったという分析ができるが、そのようなことは把握しているか。</p>
事務局	<p>もともと統計局で市町村ごとのデータが出されているが、昨年度の方はまだ結果は公開されていない。なお、それ以前の一般的な傾向としては、鉄道沿線のより下り側に転出する傾向がある。昨年度分の結果が出たら、データを照らし合わせれば、傾向が確認できるであろう。また、平成 28 年度で回復傾向が見られたのは、大型分譲マンションの売り出しが実態であると捉えている。</p>

委員	資料1 P1の所沢市への定住意向率のところで、年齢別、特に若い人の傾向等、把握できるのか。
事務局	市民意識調査については、年代ごとのデータもとっている。愛着度や定住意向については、他の年代と比べるとまだまだ20代は低いが、昨年と比べるとだいぶ回復してきている。理由までは把握できていない状況である。
委員	一番の原因はクーラーか。
事務局	一度転出数が減り回復している年があるので、クーラーを原因と結び付けるのは難しい。
委員	これからエアコンをつけていくのか。
事務局	2020年度までに全校に整備するように努めていく。
委員	資料1 P1にある「全国住みよさランキング」というのは、どういう指標で決まるものなのか。埼玉県からはどこの市町村が上位に入っているのか。
事務局	<p>指標としては、医療機関の整備数、合計特殊出生率、民間の事業所数、住宅の延床面積等、約40程度の項目の中から、順位が決定される。埼玉県内では、57位に戸田市、68位にさいたま市、69位に白岡市等が100位以内に入っている。</p> <p>所沢市でランクが上位にある内容としては、交付税依存度、ラスパイレス指数などで、50位台がある。男性の平均寿命は59位となっている。</p> <p>逆に低いのは、1世帯あたりの乗用車保有台数707位、昼夜間の人口比率720位等がある。</p>

事務局	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、今後働くまちづくりを進めていくと、昼夜間の人口比率は回復できると思われる。</p>
委員	<p>全国の市町村が住みよさランキングを競っているというわけではない、という解釈でいいか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。競っているのではなく、指標の1つとして捉えている。</p>
委員	<p>土屋知事の時、国の調査において埼玉県は一番住みにくいという結果が出たことがあったが、ことさらそういう指数にこだわらなくてもいいのでは。</p>
委員長	<p>「いいとこどり」をすればいいのではないか。例えば、1世帯当たりの乗用車保有台数は低くても問題ないのではないか。</p> <p>全ての指数ではなく、いくつか核となる指数で全国何位をめざすか、という視点で勝負すればいい。</p>
委員	<p>資料1 P1にある「全国住みよさランキング」の戦略指標の中で達成率欄にある「未達成」というのは、一市民としては、違うと感じるところがある。</p>
委員	<p>資料2 P5「今後の課題や方向性」の欄で、「全国住みよさランキングの実績が未達成となっていることから」とあるが、まちの魅力をアップすると住みよさランキングにつながるのか気になったのだが。</p>
事務局	<p>指標の中には労働力人口や民営事業所数等があって、若い人々が入ってきやすいような魅力を磨くことで全国住みよさランキングが上がっていく要素としたいという面があり、資料のような表記と</p>

事務局	<p>なっている。もともと平成 27 年度に総合戦略を策定した時にこの指標を設定したので載っている。</p> <p>総合戦略は平成 31 年度にいったん期間が満了するが、次期戦略は、新たに策定するのではなく、総合計画に総合戦略の要素を全て含んで策定作業を進めている状況のため、第 6 次総合計画で指標を参考にしながら設定していくことになる。</p>
委員	<p>資料 2 P3 に「所沢駅周辺」の開発とまちの活性化が「順調に進行している」とあるが、その点について。確かに、ハード面は順調に進行していると思うが、ソフト面の仕掛けも考えていく必要があると感じる。</p> <p>例えば、所沢駅周辺であれば、近隣の店舗間でお客様を取り合うようなことがないよう、キーとなるテナントを一同に誘致して、各店舗に均等配置するようなことができたらいいと思う。行政がその旗振り役となり、学識経験者にコーディネーターとなってもらい、行政から各店舗に声かけをし、調整していけるといい。</p> <p>東所沢駅周辺であれば、サクラタウンが順調に進行しているが、実際にどうやって外国人を呼ぶかを(株)KADOKAWA 任せにするのではなくて、まちの意見として戦略的に検討したほうがいい。</p> <p>また、資料 2 P5 に魅力をアップ（所沢ブランド）については、取組状況をわかりやすく PR ビデオにまとめて、所沢がいかにも住みたいと思えるようなまちであることをアピールしてみてもいい。</p> <p>これらの取組をすることで、中長期的に実がついてくると思う。</p>
事務局	<p>COOL JAPAN FOREST の(株)KADOKAWA との関係性というところで、民間のノウハウと地域をどう結び付けるか、というつなぎ役となることについては、市が担っていくことになると思う。それが所沢駅周辺の開発の中でヒントになっていくと考えているところ。商業ビルと商業ビルを結ぶというのはハードルが高いと感じる。</p>

委員	<p>市がやるのもいいが、商工会議所等にやってもらうというのも考えられる。また、所沢駅周辺、東所沢駅周辺、西武球場付近のエリア同士を結びつけるようなことも検討していただきたい。</p>
事務局	<p>所沢市だけでなく、行政単位での活動としては、西部地域振興センターにもご協力いただきながら、西部地区全体で盛り上げられる仕組み作りについて、近隣5市（入間市、狭山市、飯能市、日高市、当市）で情報交換を行っている。例えば、飯能市のメツツア、日高市の高麗等、エリア全体に人が流れ、宿泊できる仕組みが整えば、大きな財産になるのではないかと考えて、取り組んでいるところである。ご指摘のところは研究が足りないので、今後研究をしていきたい。</p>
副委員長	<p>資料3 P1「2 交付額」の対象事業名にある外国人観光客受入整備事業や観光コンシェルジュ事業について、交付金充当額がそれぞれ33万円、2万円となっているが、はたしてこれで育成できたのだろうか。</p>
事務局	<p>実際には何年もかけている中の平成29年度だけを取り上げている。一部分だけ示しているものをご理解いただきたい。また、受入整備事業等はハードの金額も計上されていくことになるが、ハードの部分には交付金が出ないため、このような金額になっている。</p>
委員	<p>COOL JAPAN FOREST 全体で総予算はどのくらいになるか。</p>
事務局	<p>平成29年度までの決算額としては、3億8,280万円である。また、平成33年度までの見込みは16億4,531万8,000円が予定額である。</p> <p>交付金はソフトだけなので、厳密には割り出せないが、COOL JAPAN FOREST に関連した部分だけを合計すると、1億2,138万円が交付額となっている。</p>

委員	(株)KADOKAWA にいくらで売ったか。
事務局	33 億円である。
委員	トータルで 16 億円費用がかかるということで、この後市税を投入するわけだが、還りはあるのか。
事務局	今後の道路整備も含めて 16 億円ということになる。 土地利用転換の推進エリア部分での産業用地としての価値を上げるという部分も含めての金額となっている。
委員	使う人に価値は上がると思うが、所沢市民としての価値は上がるのか。
事務局	企業誘致が進めば、価値が上がる。川の北側には、現在松郷工業団地があるが、そこを含んで土地利用転換エリアとして産業用地を 10 万㎡作って工業団地を拡大する。その準備の整備金額も含まれている。また、コンポストセンターの整備費も含まれている。
委員	総投資額に対して利益は上がるか。
事務局	サクラタウンでの経済的波及効果の試算は行っているが、産業用地の試算まではしていない。事業誘致することでの法人事業税等での還りはあると考える。
委員	どのように回収していくか、いつ頃支払が完了するのか、出しておかないといけないのでは。
事務局	東所沢だけの話としてではなく市域全体で考えているため、エリア間で出すのは難しい。

委員長	<p>今までの行政はそれで良かった。これからしっかりと行政運営をやらないと、自治体そのものが規模は小さくなる、税金は減っていくという宿命にあるので、意識の転換をはからないといけないのではないか、という指摘であろう。次の議題の中で、そのような提案をしていくということでどうか。</p> <p><u>(2) 提言案の検討 (資料 4)</u></p>
委員長	<p>前回会議の内容をもとに、提言案を5分類で作成している。今後の行政改革のために、市で既に実施していること等は除き、必要なことの整理はしたものとなっている。それを踏まえて追加・削除等、意見があればそれぞれ確認をしていきたい。</p> <p>～ヒト～</p>
委員	<p>資料 4 P1「多様な人材の確保・育成」のところ、タレントデータベースというのは、資格・特技等のある職員がどこの所属に在籍しているかがわかるようにする、というイメージか。</p>
事務局	<p>現在も外国語が話せる等「お助け人制度」でリストはできているので、一層活用を進める機会を設けるという意味では、現実味のある話である。</p>
副委員長	<p>資料 4 P1 一番下の行について、ワークライフバランス向上をどのように評価して期末手当に反映するかはパーソナルなことなので、難しいと思う。</p>
委員長	<p>前回の会議で、この意見の趣旨としては、残業手当がなくなる場合を想定しており、そういう変化が見られた時のご褒美、という意味合いだったと記憶している。</p>

副委員長	労働生産性という指標は良いと思う。ワークライフバランスは人によって感じ方が違うので、「職員のワークライフバランスが向上した場合には」という文言は削ったほうが良いのでは。
委員	労働生産性について、民間は勤務時間当たりの利益で示せるが、役所だと利益が出てこない。どのように示すか。
委員長	5人でやっていた仕事を4人でできるようになったら、1つの指標になる。
委員	仕事上の成果をあげていくということについて、成果目標等、年度当初に設定しているか。
事務局	目標確認制度というのがあり、設定はしている。
委員	困難度を序列化して、困難度の高い業務を担当している職員にはフィードバックがあるけど、それ以外の人のところには同じ割合で期末手当が払われる、というふうになるのか。
事務局	勤勉手当としては数字で評価されるが、それが労働生産性と直結するかというと、ニュアンスが少し違う。
委員	勤務評定を勤務時間で割る、ということをやれば労働生産性のようなものが出せるのでは。
委員長	なかなか難しい。企画部門のように企画・立案するのが重要で、窓口は重要でないということではない。この部分は、もう少し検討することとする。 他に意見はあるか。

委員	<p>上層部と末端で苦勞している一般職員では、意思の疎通が乖離していると思う。どうせ認めてもらえないから、とあきらめる状況があるのではないかと。そうではなくて、意見は何でも上層部に上がっていく、という仕組みにしてほしい。</p>
事務局	<p>上層部の指示により、やる気のある職員が開花する側面がある。例えば COOL JAPAN FOREST の産業の部分は、急に注目度が上がって、部としての単位もできたし、配属された職員にとってはやりがいのある職場になっている。</p>
委員長	<p>今の内容から、「やりがいを感じる職場」というのを項目の1つに入れることとする。</p>
副委員長	<p>資料 4 P2 4 行目「チームへの補助金」とはどのような形でやることを想定しているのか。</p>
委員長	<p>職員研修に限らず、業務後に実施する自己啓発の活動等に対して、会場費や講師謝礼等を援助するというもの。実際、補助金を出している自治体もある。</p>
副委員長	<p>職員研修としてというところで考えると理解できる。</p>
委員長	<p>では、「補助金」ではなくて「支援」と表現する。</p>
委員	<p>資料 4 P2 6 行目「市民、民間との交流を深める」について、今までベッドタウンだったところを、人的支援が増えて、ビジネスモデルとしてやっていくことが必要だと思う。</p> <p>例えば、ダイアプランも日高市も交えて、近隣市との境をまたいだバスを運行する等、1つのソーシャルビジネスとしてできるようなことを職員から仕掛けていくことが必要である。</p>

委員	<p>このようなものについては、意見は出るが、実際にはなかなかやるのは難しい。同業種だと比較的意見がまとまりやすいが、そうでないとまとまらない。</p>
委員	<p>生涯学習センターで人材バンクのようなものを行っているのでは。</p>
事務局	<p>やっている。登録する人は多いが、活用のニーズは少ない。</p>
委員長	<p>「市民、民間との交流を深める」という言葉には、色々な意味が含まれている。例えば、行政よりも NPO 等のスキルのほうが高い場合もある。そうしたところでは、職員がやることに固執せず、もっとノウハウを持っている人を活用していけばいい。</p> <p>このように様々な交流について、提言に含めることとし、説明する時に例示を加えることとしたい。</p> <p>～モノ～</p>
委員	<p>資料 4 P2「施設の必要性の検討および長寿化計画」とあるが、教育施設のあり方が一番重要であると思う。その文言を入れておくべきではないかと思う。</p> <p>今のまま小学校が残る、というのはあり得ない。多機能性をもたせて残す必要性はあると思うが、小学校のあり方をどうしていくか、というようなことを記すべきではないか。</p>
委員	<p>施設の半分くらいが学校なので、稼働率が悪いのは望ましくない。</p>
委員長	<p>全面的な見直しをして、必要なところに必要な施設を作る、というようなことを提言する方法もある。</p>

委員	<p>以前の会議で、修繕費がどのくらいかかるか等の話があったと思うから、そのような内容を盛り込んだほうがいい。</p>
委員長	<p>選択の幅を狭めないように、不要な施設は統合、必要なところはきちんと整理をして改修して残す、というような内容がいただろう。</p> <p>文章表現は検討するが、学校については言及することとする。</p>
委員	<p>資料4 P2 一番下の段について、「未利用市保有地」とあるが、建物もあるのでは。それに加えて、未使用に限定しなくてもいい内容である。</p>
委員長	<p>その部分については、幅広く対応できる表現にする。</p> <p>～カネ～</p>
副委員長	<p>資料4 P3「経費削減」について、書かれている内容については削減した結果であるから、「ワークライフバランスのためにも」はカットしてはどうか。</p>
委員長	<p>では、その文言の部分だけカットする。</p> <p>他に意見はあるか。</p>
副委員長	<p>資料4 P4「マチの活性化による歳入の確保」にある外国人富裕層をどのように呼び込むのか。</p>
委員	<p>(株)KADOKAWAの会長の話によると、サクラタウンに年間200万人呼び込み、うち60万人インバウンドで呼ぶという話があった。私が考えるに、いいまちと言うと、富裕層がいるイメージがある。また、地方でもインスタ映えするところがあり、外国人が集まる場所も</p>

委員	ある。所沢は自然もあるし、沢山の魅力がある。先程のムーミンの話のように、エリア全体で盛り上げていくことも考えられる。そのような流れの中で、定住の富裕層を獲得できたらいい。
副委員長	都内でさえ、富裕層獲得に苦労している状況がある。趣旨には賛同するが、提案の「富裕層を獲得する」という文言はなくしたほうが現実的である。
委員長	富裕層に限定してしまうと語弊が生じる恐れもあるので、提案から「富裕層を獲得する」という文言はなくすこととする。
	～情報～
委員	所沢は魅力あるまちだと思う。いいところを集めて、将来の可能性と夢があるまちだという PR ビデオを作り、西武の試合の合間や銀行のモニター等で流して、所沢に来た人には住みたいな、住んでいる人にはますます所沢はいいな、と思ってもらえるような働きかけができればいい。そのようなことを一筆加えていただきたい。
委員長	では、情報に加えることとする。
	～その他～
委員	市民医療センターの経営に関する内容ついて、個別に記載はできるか。
事務局	入れることは可能である。
委員長	市民医療センターの会計はどのようになっているか。

事務局	独立しているが、一般会計からも入れている。
委員長	<p>例えば、千葉県のこども病院というところでは、決算が黒字である。しかし、県が 43 億円入れている。それがなければ、黒字にならない。</p> <p>つまり、市民が必要なところなら、赤字にならないように補てんするということもある。そうすれば、病院は黒字経営となる。</p>
事務局	現在、市民医療センターでも同様のやり方をとっている。
委員長	例に出した千葉県のこども病院では、経営状況としては、保険点数の高い内容を取り入れたり、稼働率の高いものを取り入れたりして、採算がとれないところを減らす努力をしている。
事務局	市民医療センターについても、同様のことを試みている。例えば、大人の入院病床の稼働率が低い状況であったため、地域包括ケア病床も始めたところである。
委員	なぜ赤字なのか。
事務局	24 時間やっているからだが、反面、清瀬の小児病院もなくなったので、所沢市として PR できるところでもある。
委員	以前の会議でも話したが、救急病院の認識であった。一般の病院であることの PR はもっと必要。
委員	重要な医療機関であり、いずれ大規模修繕も必要になるので、相応の収益体制に切り替えるべき。放置してはいけない場所だと感じている。

<p>委員長</p>	<p>では、市民病院について文章をおこす。大規模修繕も抱えているので、市民病院の性格をはっきりさせ、もっと PR する、採算がとれるような努力をする、というような内容を盛り込んでいく。</p> <p>事務局と相談をして、皆さんに提案したい。その後に第 4 回会議を開くので、清覧を得たい。</p> <p><u>(3) その他</u></p> <p>次回会議日程の候補日を各委員のスケジュールを確認しながら絞り込んだ。</p> <p>後日、最終決定後、事務局より各委員へ E メールにて提示することを確認した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>次回までの ToDo 等まとめ</p>	<p>① 委員長が事務局と相談して提言の最終案を作成する。</p> <p>～ヒト～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワークライフバランス」という文言を削除する。 ・労働生産性に関する文章表現については、再考する。 ・「やりがいを感じる職場」について追加する。 ・「チームへの補助金」は「チームへの支援」にする。 ・「市民、民間との交流を深める」という言葉には、色々な意味を含め、例示できるようにする。 <p>～モノ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「施設の必要性の検討および長寿化計画」については、具体的な施設として、学校について言及する。文章表現は検討する。 <p>～カネ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「経費削減」のところから「ワークライフバランス」と

	<p>いう文言を削除する。</p> <ul style="list-style-type: none">・「マチの活性化による歳入の確保」について、「富裕層」に限定した表記を削除する。 <p>～情報～</p> <ul style="list-style-type: none">・所沢の動画等を街中に流してPRする、という内容を追加する。 <p>～その他～</p> <ul style="list-style-type: none">・市民医療センターの経営に関する内容を追加する。 <p>② 第4回委員会の前に最終案をサークルスクエア・郵送で共有する。</p> <p>③ 第4回開催日を事務局から各委員へEメールにて提示する。</p>
--	--